

臨床研究概要

整理番号 11-8-19

研究課題名

冠動脈バイパス術施行患者における性差・年齢因子の検討

目的

当院において過去 15 年間で約 1500 例の CABG が施行され、それらについて様々な患者背景が記録されている。そこで、重症化した冠動脈疾患を有することが予想される CABG 施行患者の性差・加齢に対する影響を後ろ向きに評価する。ことにより、冠動脈の重症化を予防するためには、男女別に若年から如何なる冠動脈リスクに対して、どのように管理が必要であるかを推測する。

適格基準

対象：当院にて行われた冠動脈バイパス手術症例（期間1994.4-2010.5）。川崎病に伴う冠動脈瘤に対する冠動脈バイパス術、及び家族性高コレステロール血症患者は除外する。性別：問わない。年齢：問わない。

方法

患者情報：生年月日、性別、既往歴、生活習慣（飲酒、喫煙）、治療内容：入院時、入院期間中投薬内容、身体所見：身長、体重、BMI、血圧、脈拍、血液検査。非侵襲的検査：心電図、心臓超音波検査。侵襲的検査：冠動脈造影。以上の情報を収集する。

評価項目

主要評価項目：各危険因子における男女別保有率の評価。各危険因子における各世代間の保有率の評価

目標症例数：1500例

試験期間：2011.8-2011-12

協力病院：なし